

leukemia cell lines. The 3rd International ZIMMERMANN Conference, 1996, 10, Hakone.

- 9) 江尻直子, 新谷憲治, 櫻川信男: 各種樹立癌細胞における線溶関連因子の遺伝子発現. 第36回日本臨床化学会, 1996, 10, 甲府市.
- 10) 新谷憲治: 血栓止血検査の分子生物学的アプローチ. 第43回日本臨床病理学会総会, 1996, 11, 浜松市.
- 11) 小澤哲夫, 新谷憲治, 櫻川信男, 滝川康裕, 藤原隆雄, 鈴木一幸, 佐藤俊一: 新しい変異が確認された先天性アンチトロンビン欠乏症 type I の一家系. 第38回日本臨床血液学会総会, 1996, 11, 大宮市.
- 12) 新谷憲治, 津澤豊一, 小澤哲夫, 上嶋 繁, 櫻川信男: 樹立白血病・リンパ腫細胞におけるウロキナーゼレセプターの発現. 第19回日本血栓止血学会学術集会, 1996, 11, 甲府市.
- 13) 林 利光, 三川 潮, 早川由美子, 林 京子, 新谷憲治, 櫻川信男: 藍藻スピルリナ由来硫酸化多糖Calcium spirulan (Ca-SP)の血液凝固阻害作用. 日本生薬学会第43回年会, 1996, 東京.
- 14) 新谷憲治, 櫻川信男: 凝固・線溶関連因子受容体研究の新展開 PL-21 白血病細胞におけるuPA受容体とLRPの発現. 第10回千里止血血栓シンポジウム, 1996, 大阪.

◆ その他

- 1) 櫻川信男: Subcommittee on Control of Anti-coagulation. 1995年国際血栓止血学会 S S C 報告書, 76-81, 1995, 6.
- 2) 櫻川信男: 勤務医コーナー「臨床検査医学」, 医報とやま No.1167: 22, 1996, 5.
- 3) 櫻川信男, 丸山征郎: 血栓止血異常への分子生物学的アプローチ. The Medical & Test Journal, 平成8年11月11日, No.551号.
- 4) 櫻川信男: Walter H. Seegers 教授の御逝去を悼む. 日本血栓止血誌 7(3): 161-162, 1996.
- 5) 櫻川信男: 櫻友会と私. 櫻友会(富山血友病患者「友の会」)の一年, 平成7年度HIV感染者等保健福祉相談推進研究事業, 1996, 2.
- 6) 新谷憲治: ミニ情報 PAI-2. 臨床検査 40: 71, 1996.
- 7) 新谷憲治: ミニ情報 ヒルジンとその誘導体. 臨床検査 40: 190, 1996.

和 漢 診 療 学

教 授	寺 澤 捷 年
助 教	伊 藤 隆
講 師	嶋 田 豊
助 手	新 谷 卓 弘
助 手	喜 多 敏 明
助 手(前)	高 橋 宏 三

◆ 著 書

- 1) 寺澤捷年: 漢方薬. 「治療薬マニュアル1996」, 菊池方利, 北原光夫, 関 頭, 松枝 啓編集, 1167-1202, 医学書院, 東京, 1996.
- 2) 寺澤捷年: 八味地黄丸と胃腸障害. 「この薬のこの副作用」松田重三編, 222-223, 医歯薬出版株式会社, 東京, 1996.
- 3) 寺澤捷年: 東洋医学の治療法. 「臨床神経内科学・第3版」平山恵造編, 769-775, 南山堂, 東京, 1996.
- 4) Nishijo H., Kita T., Tamura R., Eifuku S. and Ono T.: Involvement of amygdala septo-hippocampus in emotion. In Emotion, Memory and Behavior, ed. by Nakajima T. and Ono T. 17-30, Japan Scientific Societies, Tokyo, 1995 (前回未掲載).
- 5) Tamura R., Kita T., Nishijo H. and Ono T.: Responsiveness of monkey septal neurons during object discrimination based on place recognition. In The Hippocampus: Function and Clinical Relevance, ed. by Kato N., 329-332, Elsevier, Amsterdam, 1996.

◆ 原 著

- 1) Watanabe M., Shimada Y., Sakai S., Shibahara N., Matsuda H., Umeno K., Asanoi H. and Terasawa K.: Effects of water ingestion on gastric electrical activity and heart-rate variability in healthy human subjects. 44-50, Journal of the Autonomic Nervous System 58, 1996.
- 2) Kogure T., Itoh T., Shimada Y., Shintani T., Ochiai H. and Terasawa K.: Detection of serum soluble markers of immune activation in rheumatoid arthritis. 262-265, Mediators of Inflammation 5, 1996.
- 3) Iijima K., Toriizuka K., Tanaka N., Cyong J-C. and Terasawa K.: Effects of Tokisyakuyaku-san on the expression of Fc

- receptors and CR3 on macrophages in mice. *J. Trad. Med.* 13: 132-142,1996.
- 4) Hikiami H., Kohta K., Sekiya N., Shimada Y., Itoh T. and Terasawa K.: Erythrocyte deformability in "oketsu" syndrome and its relations to erythrocyte viscoelasticity. *J. Trad. Med.* 13: 156-164,1996.
 - 5) Kogure T., Itoh T., Shimada Y., Takahashi K. and Terasawa K.: The influence of a traditional herbal medicine on the disease activity in patients with rheumatoid arthritis. *Clin Rheumatol* 8: 232-240,1996.
 - 6) Ochiai H., Sakai S., Kogure T., Hirabayashi T., Nakajima K. and Terasawa K.: Development and some applications of enzyme-linked immunosorbent assay system for murine macrophage inflammatory protein-2 (MIP-2). *Mediators of Inflammation* 5: 206-209, 1996.
 - 7) Hikiami H., Sekiya N., Kohta K., Shimada Y., Itoh T. and Terasawa T.: Correlation between erythrocyte deformability and "oketsu" syndrome. *Micro circulation Annual* 12: 79-80,1996.
 - 8) Takahashi K., Kobayashi H., Kobayashi S., Kimura I., Terasawa K. and Kimura M.: Antiproliferative effects of magnosalin derived from 'Shin'ii' (Flos Magnoliae), a Japanese Sino-medicine, on cultured synovial cells of MRL/l and C57BL/6J mice. *Phytotherapy Research* 10: 42-48,1996.
 - 9) Ochiai H., Sakai S., Nakajima K., Sakai T. and Terasawa K.: Inducing activity of respiratory syncytial virus on the production of macrophage inflammatory protein-2 in murine macrophages and airway-lining cells. *Acta Medica et Biologica* 44: 135-140,1996.
 - 10) Gotoh H., Shimada Y., Akechi Y., Kohta K., Hattori M. and Terasawa K.: Endothelium-dependent vasodilator effect of extract prepared from the roots of paeonia lactiflora on isolated rat aorta. *Planta Medica* 62: 436-439,1996.
 - 11) 引網宏彰, 古田一史, 伊藤 隆, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 瘀血と多発性脳梗塞の病巣分布との関連性—MRI所見による検討—. *日本東洋医学雑誌* 46: 547-554, 1996.
 - 12) 寺澤捷年, 土佐寛順, 伊藤 隆, 三瀧忠道, 嶋田 豊: 吉益東洞『建珠録』に登場する越中の僧達—真宗僧侶の東洞医説受容の一形跡—. *日本東洋医学雑誌* 46: 735-746, 1995.
 - 13) 後藤博三, 嶋田 豊, 古田一史, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 芍薬の内皮依存性血管弛緩作用. *和漢医薬学雑誌* 12: 300-301, 1995 (前回未掲載).
 - 14) 古田一史, 引網宏彰, 関矢信康, 松田治己, 伊藤 隆, 寺澤捷年: Rabbit ear chamberモデルを用いた高脂血症状態における微小循環系に対する桂枝茯苓丸の影響. *和漢医薬学雑誌* 12: 304-305, 1995 (前回未掲載).
 - 15) 引網宏彰, 古田一史, 嶋田 豊, 松田治己, 寺澤捷年: 瘀血病態における赤血球膜粘弾性の検討. *和漢医薬学雑誌* 12: 306-307, 1995 (前回未掲載).
 - 16) 酒井伸也, 落合 宏, 平林多津司, 寺澤捷年: 升麻成分フェルラ酸及びイソフェルラ酸の in vitro におけるマウスIL-8産生に及ぼす影響について. *和漢医薬学雑誌* 12: 394-395, 1995 (前回未掲載).
 - 17) 小暮敏明, 藤永 洋, 高橋宏三, 新谷卓弘, 寺澤捷年: 肺結核症を併発した慢性関節リウマチ患者の検討. *中部リウマチ* 27: 125-126, 1996.
 - 18) 伊藤陽一, 佐藤伸彦, 稲富雄一郎, 友田宏幸, 藤井直樹: 塩酸アプリンジンによる薬剤性パーキンソニズムの1例. *神経内科* 44: 72-76, 1996.
- ◆ 症例報告
- 1) 萬谷直樹, 寺澤捷年: 半夏厚朴湯と苓桂朮甘湯が奏効したパニックディスオーダーの一例. *日本東洋医学雑誌* 46: 561-565, 1996.
 - 2) 小暮敏明, 引網宏彰, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 補中益気湯と桂枝茯苓丸加紅花大黃が奏効したネフローゼ症候群を呈した慢性腎不全の一例. *日本東洋医学雑誌* 47: 43-48, 1996.
 - 3) 川俣博嗣, 土佐寛順, 寺澤捷年: 寝たきり老人に黄耆建中湯が奏効した二例. *日本東洋医学雑誌* 47: 253-260, 1996.
 - 4) 伊藤 隆, 喜多敏明, 嶋田 豊, 柴原直利, 寺澤捷年: 八味地黄丸の慢性喘息に対する効果 (第1報). *日本東洋医学雑誌* 47: 433-441, 1996.
 - 5) 伊藤 隆, 柴原直利, 新谷卓弘, 喜多敏明, 寺澤捷年: 八味地黄丸の慢性喘息に対する効果 (第2報). *日本東洋医学雑誌* 47: 443-449, 1996.
- ◆ 総 説
- 1) 嶋田 豊, 寺澤捷年: パネルディスカッション 1, 神経疾患の漢方療法, 脳血管性痴呆に対する

- 釣藤散の効果. 神経治療学 12: 511-514, 1995 (前回未掲載).
- 2) 寺澤捷年: 心身医療と宗教の接点—宗教からみた心とからだ— 儒教・道教と中医医学. 心身医療 2: 42-45, 1996.
 - 3) 寺澤捷年: 高齢化社会における漢方医学の役割—補腎・補気・補血の意義—. 日本東洋医学会第53回関東甲信越支部学術総会 特別講演, 1996, 10, 水戸.
 - 4) 喜多敏明: 頭痛 東洋医学と西洋医学の接点 東洋医学からみた頭痛の治療. 第23回千葉東洋医学シンポジウム: 30-39, 1996.
 - 5) 喜多敏明, 寺澤捷年: 老年期精神障害と漢方治療痴呆性疾患の漢方治療. 老年精神医学雑誌 7: 1187-1192, 1996.
- ◆ 学会報告
- 1) Hikiami H., Terasawa K. and Itoh T.: The effect of toki-syakuyaku-san on microcirculation in cholesterol fed rabbits. Sixth World Congress for Microcirculation, 1996, 8, Germany.
 - 2) Hikiami H., Terasawa K. and Itoh T.: The effect of Toki-syakuyaku-san on microcirculation in cholesterol-fed rabbits. 6th World Congress for Microcirculation, 1996, 8, Germany.
 - 3) 寺澤捷年: 高齢化社会における漢方医学の役割—補腎・補気・補血の意義—. 日本東洋医学会第53回関東甲信越支部学術総会 特別講演, 1996, 10, 水戸.
 - 4) 後藤博三, 谷川聖明, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 桂枝茯苓丸構成生薬の内皮依存性血管弛緩作用. 第3回中西医結合・動脈硬化症・血栓症・一次予防国際シンポジウム, 1996, 9, 北京.
 - 5) 引網宏彰, 関矢信康, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 赤血球変形能・赤血球膜粘弾性と瘀血病態との関連性. 第21回日本微小循環学会総会, 1996, 2, 豊中.
 - 6) 野崎和也, 藤永 洋, 小暮敏明, 関矢信康, 菊地一夫, 柴原直利, 高橋宏三, 新谷卓弘, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: DICを併発したSLEの1例. 第168回日本内科学会北陸地方会, 1996, 3, 富山.
 - 7) 喜多敏明, 松田治己: 疎経活血湯足疼加減の變方が有効であった下肢痛の一例. 第21回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 3, 富山.
 - 8) 野崎和也, 藤永 洋, 小暮敏明, 高橋宏三, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 桂枝加黄耆湯が有効であった進行性全身性硬化症 (PSS) の一例. 第21回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 3, 富山.
 - 9) 地野充時, 菊地一夫, 新谷卓弘, 後藤博三, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった腰部脊柱管狭窄症の一老女例. 第21回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 3, 富山.
 - 10) 森崎龍郎, 関矢信康, 谷川聖明, 佐藤伸彦, 引網宏彰, 酒井伸也, 柴原直利, 寺澤捷年: 烏薬順気散料が有効であった四肢のしびれ・疼痛を訴えたパーキンソン病患者の一例. 第21回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 3, 富山.
 - 11) 寺澤捷年: 漢方薬再評価の問題. 第69回日本薬理学会年会, 1996, 3, 長崎.
 - 12) 寺澤捷年: 看護に生かす東洋医学の智慧. 日本看護研究学会近畿・北陸・中国・四国地方会 第10回学術集会, 特別講演, 1996, 3, 富山.
 - 13) 引網宏彰, 小暮敏明, 高橋宏三, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 全身性エリテマトーデスの血小板減少症に対して十全大補湯が奏効した一例. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
 - 14) 菊地一夫, 新谷卓弘, 地野充時, 高橋宏三, 寺澤捷年: 慢性の疼痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった二例. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
 - 15) 新谷卓弘, 古田一史, 小暮敏明, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 全身性エリテマトーデスに随伴した血小板減少症に対して黄耆大棗湯 (仮称) が有効であった二例. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
 - 16) 小暮敏明, 藤永 洋, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 渡辺実千雄, 寺澤捷年: シェーグレン症候群に対する温経湯の使用経験. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
 - 17) 関矢信康, 藤永洋, 小暮敏明, 新谷卓弘, 寺澤捷年: 当帰四逆加呉茱萸生姜湯が奏効した慢性関節リウマチの一例. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
 - 18) 古田一史, 三瀧忠道, 田原英一, 松尾直裕: 通脈四逆湯の適応病態に関する検討. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
 - 19) 後藤博三, 関矢信康, 古田一史, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 痿症方が有効であった下肢筋力低下の3例. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.

- 20) 柴原直利, 関矢信康, 新谷卓弘, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 柴陥湯の使用経験. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
- 21) 谷川聖明, 柴原直利, 新谷卓弘, 嶋田 豊, 伊藤 隆, 寺澤捷年: ステロイド剤と和漢薬治療の併用療法が有効であったネフローゼ症候群の一症例. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
- 22) 田原英一, 三瀧忠道, 松尾直裕, 古田一史, 寺澤捷年: 漢方治療が有効であった甲状腺機能亢進症の2症例. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
- 23) 松田治己, 喜多敏明: 連珠飲のアトピー性皮膚炎に対する効果. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
- 24) 喜多敏明, 松田治己: 不定愁訴に対する加味逍遙散の効果. 第47回日本東洋医学会学術総会, 1996, 5, 横浜.
- 25) 藤永 洋, 小暮敏明, 高橋宏三, 新谷卓弘, 伊藤 隆, 寺澤捷年: DICを併発したSLEの一例. 第40回日本リウマチ学会総会, 1996, 5, 福島.
- 26) 小暮敏明, 高橋宏三, 藤永 洋, 新谷卓弘, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 肺結核症を併発した慢性関節リウマチ患者の検討. 第40回日本リウマチ学会総会, 1996, 5, 福島.
- 27) 奥田忠行, 梅野克身, 柴原直利: 自律神経活動測定時における呼吸の影響. 第45回日本臨床衛生検査学会, 1996, 5, 千葉.
- 28) 酒井伸也, 落合 宏, 中島捷久, 寺澤捷年: Respiratory syncytial virus(RSV)のサイトカイン産生誘発について. 第7回日本生体防御学会総会, 1996, 7, 名古屋.
- 29) 高橋宏三, 松田治己, 喜多敏明, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 慢性関節リウマチと瘀血との関連性について. 第13回和漢医薬学会大会, 1996, 8, 富山.
- 30) 谷川聖明, 後藤博三, 片岡照恵, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 桂皮の内皮依存性血管弛緩作用. 第13回和漢医薬学会大会, 1996, 8, 富山.
- 31) 後藤博三, 谷川聖明, 片岡照恵, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 檳榔子の内皮依存性血管弛緩作用. 第13回和漢医薬学会大会, 1996, 8, 富山.
- 32) 巽 武司, 土佐寛順, 長坂和彦: 腹候と身体・血液検査所見の関連性に関する検討. 第13回和漢医薬学会大会, 1996, 8, 富山.
- 33) 長坂和彦, 土佐寛順, 巽 武司: 胸部所見と漢方医学的腹候の関連性に関する検討. 第13回和漢医薬学会大会, 1996, 8, 富山.
- 34) 藤永 洋, 嶋田 豊, 引網宏彰, 後藤博三, 新谷卓弘, 伊藤 隆, 寺澤捷年, 古田一史, 三瀧忠道: 高齢者の手足腫の痛み・脱力感・しびれ・冷えに対する八味地黄丸の効果. 第13回和漢医薬学会大会, 1996, 8, 富山.
- 35) 小暮敏明, 酒井伸也, 新谷卓弘, 伊藤 隆, 寺澤捷年: 慢性関節リウマチ患者における活性化リンパ球可溶性膜抗原の意義. 第8回中部リウマチ学会総会, 1996, 9, 浜松.
- 36) 酒井伸也, 寺澤捷年, 中島捷久, 落合 宏: 抗MIP-2抗体のマウスインフルエンザウィルス感染に及ぼす影響. 第44回日本ウィルス学会総会, 1996, 10, 静岡.
- 37) 小暮敏明, 藤永 洋, 新谷卓弘, 伊藤 隆, 寺澤捷年: DIC併発時に, 血清中可溶性CD8の増加が観察されたSLEの一例. 第11回日本臨床リウマチ学会総会, 1996, 11, 千里.
- 38) 久永明人, 堤 学, 倉知正佳, 寺澤捷年: 黄連阿膠湯去鷄子黄の投与でチアプリド(商品名: グラマリール)中止後に徘徊が消失したアルツハイマー型痴呆症の1症例. 第22回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 11, 金沢.
- 39) 古谷陽一, 川俣博嗣, 後藤博三, 喜多敏明, 伊藤 隆: 甘草瀉心湯が奏効したベーチェット病の1例. 第22回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 11, 金沢.
- 40) 林 克美, 田原英一, 菊地一夫, 引網宏彰, 柴原直利: 大黃甘遂湯の使用経験. 第22回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 11, 金沢.
- 41) 久保博嗣, 谷川聖明, 酒井伸也, 小暮敏明, 新谷卓弘: 桂枝湯が奏効した潰瘍性大腸炎の1例. 第22回日本東洋医学会北陸支部例会, 1996, 11, 金沢.

◆ その他

- 1) 寺澤捷年: 現在医療における漢方薬の新しい応用と可能性を求めて一その有効成分と作用機序を中心に. Progress in Medicine 2, 巻頭言: 171-172, 1996.
- 2) 寺澤捷年: 駆瘀血剤の臨床(教育講演). 耳鼻咽喉科臨床 89: 61-71, 1996.
- 3) 寺澤捷年: 21世紀医療と漢方医学の役割. 医療ルネサンス北陸フォーラム, 基調講演, 1996, 5, 富山.
- 4) 寺澤捷年: 日々の健康と漢方薬. 医療ルネサンス北陸フォーラム, パネルディスカッション, 1996, 5, 富山.

- 5) 寺澤捷年：漢方治療 抵抗力をつける。きょうの健康 7：34-39, 1996.
- 6) 喜多敏明：リウマチと東洋医学。北陸，東海地区リウマチのリハビリテーション研修会，1996，1，金沢。
- 7) 小暮敏明：リコンビナント抗原を用いたELISA法による抗核抗体検出法の問題点。第15回富山リウマチと免疫研究会，1996，2，富山。
- 8) 小暮敏明：膠原病患者における活性化リンパ球可溶性膜抗原。第17回富山リウマチと免疫研究会，1996，10，富山。
- 9) 寺澤捷年：常習性頭痛の漢方治療。日本医師会生涯教育講座 朝日難治性疾患セミナー，1996，3，千葉。
- 10) 寺澤捷年，喜多敏明：八味地黄丸料が有効であったアルツハイマー型痴呆の2症例。北陸地区神経科・精神科漢方研究会，1996，4，金沢。
- 11) 柴原直利：アレルギーと漢方 アレルギー疾患に対する和漢薬治療。第24回千葉東洋医学シンポジウム，1996，12，千葉。
- 12) 喜多敏明：漢方治療；疾患／証／方剤。和漢薬セミナー（大山研修），1996，8，大山町。
- 13) 新谷卓弘：第一回和漢薬談義。和漢薬セミナー（大山研修），1996，8，大山町。
- 14) 喜多敏明：症候別漢方治療—頭痛を中心として—。福井東洋医学臨床講座，1996，2，福井。
- 15) 新谷卓弘：腰痛・関節痛と漢方。福井東洋医学臨床講座，1996，9，福井。
- 16) 新谷卓弘：皮膚疾患と漢方。福井東洋医学臨床講座，1996，11，福井。
- 17) 新谷卓弘：漢方薬・こんな使い方もある。第40回永春会（漢方研究会），1996，8，富山。
- 18) 喜多敏明：呼吸器疾患と漢方。実践漢方診療講座，1996，9，富山。
- 19) 谷川聖明：臨床漢方における柴胡剤。新潟県医師会生涯教育講座 上越学術講演会，1996，10，上越。
- 20) 高橋宏三：慢性関節リウマチと和漢薬。平成7年度富山県リカレント教育学習コース（和漢薬を暮らしに生かす），1996，1，富山。
- 21) 伊藤隆：漢方治療—証と方剤—。平成8年度富山県リカレント教育学習コース（和漢薬に未来はあるか），1996，6，富山。
- 22) 新谷卓弘：水毒について。平成8年度富山県リカレント教育学習コース（和漢薬に未来はあるか），1996，6，富山。
- 23) 嶋田 豊：高齢者医療における東洋医学の役割老人医療と漢方（学会シンポジウム）。日本東洋医学雑誌 46：645-667，1996。
- 24) 寺澤捷年：巻頭言・細野史郎先生の7回忌特集をよんで。漢方の臨床 43：185，1996。
- 25) 寺澤捷年：陳立夫中医薬学術奨を受賞して。漢方の臨床 43：1580-1583，1996。
- 26) 藤永 洋，寺澤捷年：かぜと漢方。今月の治療 4：46-48，1996。
- 27) 寺澤捷年，伊藤栄一，真田順子：座談会・脳血管障害と精神症状。今月の治療 4：189-212，1996。
- 28) 小暮敏明，寺澤捷年：下痢・便秘の漢方治療。今月の治療 4：367-372，1996。
- 29) 井口 潔，折茂 肇，白男川史朗，寺澤捷年：座談会・21世紀の医療を考える。漢方医学 20：1-7，1996。
- 30) 糸氏英吉，清水哲也，寺澤捷年：座談会・現代医学・医療における漢方医学の役割と展望。漢方医学 20：273-279，1996。
- 31) 伊藤 隆：麻杏甘石湯の煎じ薬が奏効した喘息重責状態の幼児の一例。活38：10-12，1996。
- 32) 酒井伸也，寺澤捷年：柴胡桂枝乾姜湯合半夏厚朴湯が奏効した気管支喘息の一例。カレントセラピー 14：163-165，1996。
- 33) 後藤博三，寺澤捷年：附子瀉心湯が奏効した糖尿病にともなう頭痛の一例。カレントセラピー 14：325-327，1996。
- 34) 藤永 洋，寺澤捷年：荊芥連翹湯加減方が有効であったアトピー性皮膚炎の一例。カレントセラピー 14：513-515，1996。
- 35) 関矢信康，寺澤捷年：桂枝人參湯が奏効した慢性頭痛の一例。カレントセラピー 14：697-698，1996。
- 36) 菊地一夫，寺澤捷年：芍薬甘草附子湯が有効であった腰椎脊柱管狭窄症の一例。カレントセラピー 14：877-879，1996。
- 37) 佐藤伸彦，寺澤捷年：発熱を繰り返す小児に柴胡清肝湯が奏効した一例。カレントセラピー 14：1097-1098，1996。
- 38) 川俣博嗣，寺澤捷年：寝たきり老人のADL改善に黄耆建中湯が奏効した症例。カレントセラピー 14：1307-1309，1996。
- 39) 田原英一，寺澤捷年：苓甘姜味辛夏仁湯が奏効したアレルギー性鼻炎の一例。カレントセラピー 14：1473-1476，1996。
- 40) 谷川聖明，寺澤捷年：通導散が有効であった便秘・腹満の一例。カレントセラピー 14：

1647-1649, 1996.

- 41) 渡辺実千雄, 寺澤捷年: 苓甘姜味辛夏仁湯, 人參養榮湯が奏効した感染性肺嚢胞の一例. カレントセラピー 14:1847-1850, 1996.
- 42) 鎌田晃彰, 寺澤捷年: 大建中湯が奏効した慢性腹痛の一例. カレントセラピー 14:2045-2047, 1996.
- 43) 新谷卓弘, 寺澤捷年: 頭痛・嘔気・不眠を合併した月経困難症に呉茱萸湯が奏効した一例. カレントセラピー 14:2257-2259, 1996.
- 44) 寺澤捷年: 人間の回復力と漢方. NHK教育テレビ「金曜フォーラム」, 1996, 3, 29.
- 45) 寺澤捷年: 薬のアラカルト 漢方薬 リンパ球の教育. 夕刊読売新聞, 1996, 1, 8.
- 46) 寺澤捷年, 佐藤 弘: 特集・老年者における漢方治療のポイント. Medical Tribune, 1996, 7, 18.
- 47) 伊藤 隆: コラム・私と漢方. 漢方と最新治療 5:419-421, 1996.
- 48) 八瀬善郎, 丹沢章八, 藤岡晨宏, 寺澤捷年, 田代邦雄, 丸山征郎, 阿部博子, 山岡傳一郎: スモン患者の漢方治療—投与薬剤の変移について—. 厚生省特定疾患スモン調査研究班平成8年度研究報告書:186-189, 1996.
- 49) 伊藤 隆: 薬を生かす・薬を生む・瘀血・瘀血病態と最近の研究について. P&M 1:26-29, 1996.
- 50) 寺澤捷年: 漢方の臨床実践から学んだこと. ファルマシア 8:917-920, 1996.

人間科学・基礎看護学 基礎看護学研究室

教	授	高	間	静	子
助	教	濱	畑	章	子
講	師	塚	原	節	子
助	手	上	野	栄	一
助	手	福	村	幸	代

◆ 原 著

- 1) 田中三千雄, 高間静子: 末期がん患者の付き添い家族への看護ケアに関する研究—看護婦の自己評価を基にした検討—. 富山医科薬科大学看護学科紀要 3号:85-91,1996.
- 2) 田中三千雄, 高間静子: 末期がん患者の付き添い家族におけるDistressと同家族が要求する看護ケアとの関連性についての検討. 富山医科薬科大学看護学科紀要 3号:93-103,1996.
- 3) 田中三千雄, 高間静子: 末期がん患者の付き添い家族に対する看護ケアにおける看護婦の取り組み姿勢(看護度)と同家族の満足度との関連性についての検討. 富山医科薬科大学看護学科紀要 3号:105-110,1996.
- 4) 高間静子, 川西千恵美, 塚原節子, 福田正治, 上野栄一: 看護婦の専門的自律に関する研究 その1—就業姿勢の専門的自律度への影響—. 富山医科薬科大学医学会誌 第9巻:55-60,1996.
- 5) 高間静子, 塚原節子, 上野栄一, 福田正治, 田中三千雄: 看護婦の価値観の職務満足度への影響. 富山医科薬科大学看護学科紀要 3号:21-28,1996.
- 6) 湯川倫代, 高間静子, 塚原節子, 福田正治, 田中三千雄: 看護婦の就労姿勢の勤労意欲への影響. 富山医科薬科大学看護学科紀要 3号:1-8, 1996.
- 7) Hamahata A., Takata Y., Gomi T., and Fujioka M. : Probing the S-adenosylmethionine-binding site of rat guanidinoacetate methyltransferase: Effect of site-directed mutagenesis of residents that are conserved across mammalian non-nucleic acid methyltransferases. Biochem. J., 317:141-145, 1996,
- 8) 濱畑章子, 福村幸代: 慢性疾患で入院した高齢者の自己概念の維持. 看護技術 42(15):102-107, 1996.
- 9) 川西千恵美, 高間静子, 塚原節子: 看護婦の専門的自律に関する研究 その3—依存性・開き直り度・独立意識の専門的自律度への影響—. 富山医科薬科大学医学会誌 第9巻:66-69, 1996.